

【Desemborth the Thief】

説明

解説

■神殿

嵐の神殿。小神。

■称号

オーランスが他の神より何かを盗む時に名乗った、“盗賊”としてのオーランスの名。オーランスの別名の一つ。

■概略

オーランスは“盗賊”デセンボースと名乗り、エルヴォーから闇のサンダルを、フマクトから剣を、街からアーナールダを盗み出した。ただし闇のサンダルは、カイガー・リートールより盗んだという神話もある。

デセンボースはアロンの略奪にも加わっており、自分の取り分以上を敵より盗み出し、他の戦士が戦っている隙に逃げ出した。

オーランス四つの魔法の武器の一つ、闇のサンダルと同一の神格か。

カルトとしてはオーランスの古い姿を崇めるカルトで、多くは若い神々にその職能を譲っており、これが崇められることは稀である。

業績

- ・アロンの略奪に加わる。

組織

■相、カルト

冒険者オーランスの下位カルト。

参考文献

- ・『ゆりかご河』 p.137-138
 - ・『Thunder Rebels』 p.216-217、221-222
-